



シャフトプーリ キット

Greensmaster® 3000 シリーズおよび Flex/eFlex 1800/2100 シリーズ
のトラクションユニットに搭載された DPA リールモアのグルーマ用

モデル番号 138-9702

モデル番号 139-2696

モデル番号 139-2697

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	—	既存のグルーマシャフトと受動プーリを外します。
3	グルーマシャフト カバー 受動プーリ スペーサ フランジロックナット	1 1 1 1 1	キットを取り付けます。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順


1. 平らな場所に駐車する。
2. カuttingユニットを床面まで降ろす。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. エンジンを止め、キーを抜き取ってください。
5. Cuttingユニットをマシンから取り外すマシンのオペレーターズマニュアルを参照。

2

既存のグルーマシャフトと受動プーリを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. グルーマハウジングからベルトカバーを外す  1。



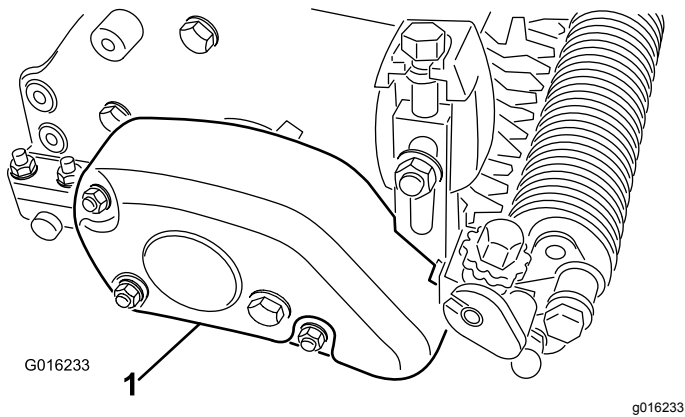


図 1

図はカッティングユニットの右側を示す

1. ベルトカバー

2. のように駆動プーリ、アイドルプーリ、受動プーリからベルトを外す 図 2。

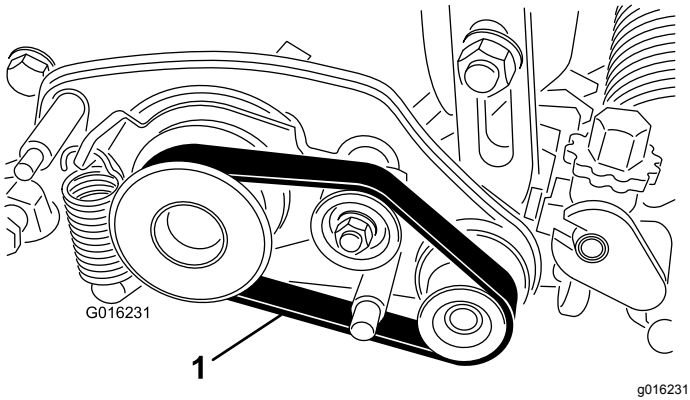


図 2

1. ベルト

3. ローラシャフトを刈高アームに固定しているボルトをゆるめる 図 3。

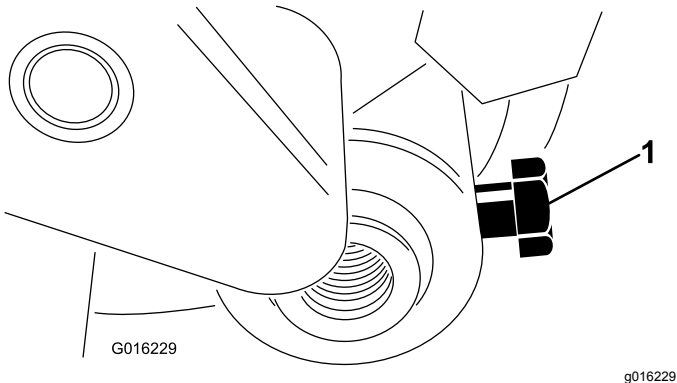


図 3

1. ローラシャフトのボルト

4. 刈高アセンブリのロッド端部をグルーマ駆動アセンブリに固定しているロックナットとワッシャを外す 図 4。

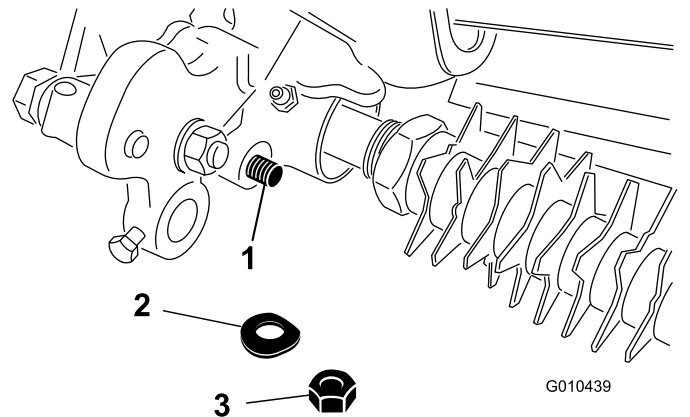


図 4

1. 刈高アセンブリのロッド端部
2. ワッシャ
3. ロックナット

5. 刈高アームアセンブリをサイドプレートに固定しているプラウボルト、ナット、ワッシャを外す 図 5。

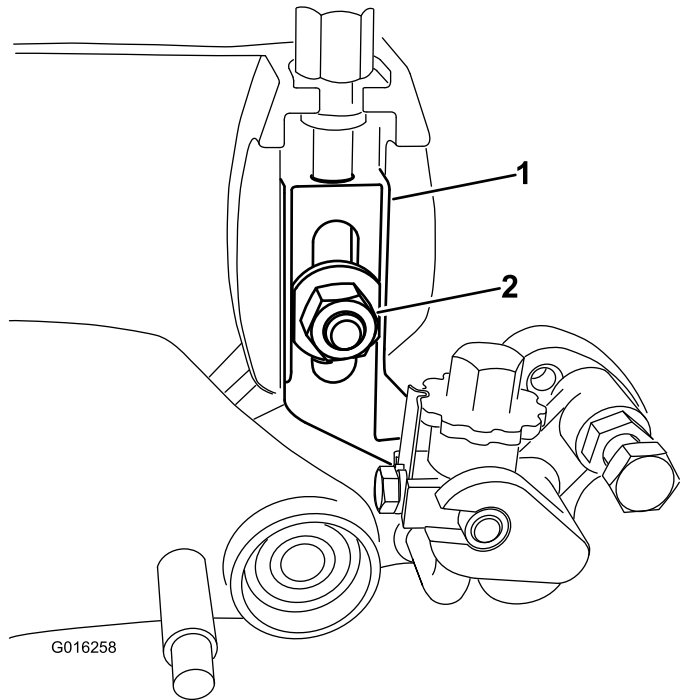


図 5

1. 右側アジャスタアームアセ
2. ワッシャとロックナット

6. 受動プーリをグルーマシャフトの端部に固定しているフランジロックナットを外す 図 6。プーリを外す。

注 ロックナットとプーリは廃棄して構いません。

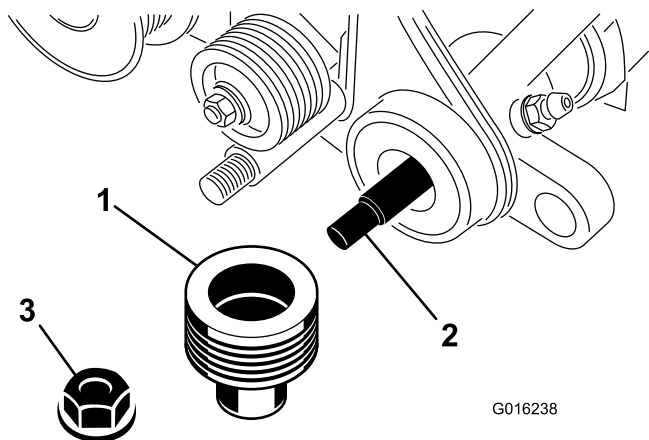


図 6

g016238

1. 受動プーリ
2. グルーミングシャフト
3. フランジロックナット

7. リールシャフトからグルーマ駆動プーリを外す [図 7](#)。

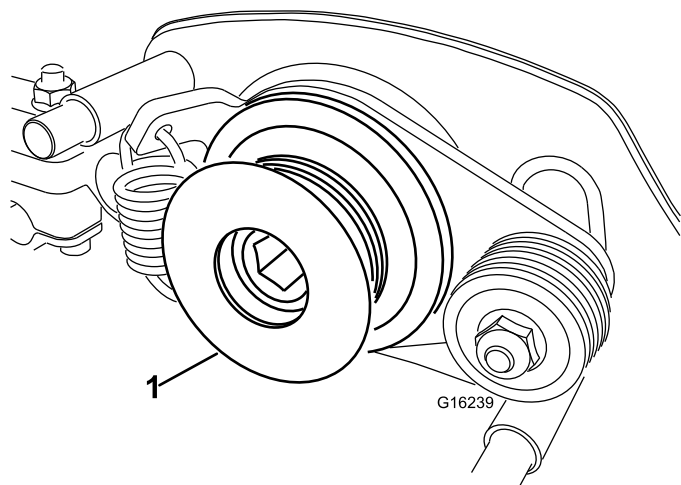


図 7

g016239

1. グルーマの駆動プーリ

8. 駆動プレートアセンブリをカッティングユニットのフレームに固定しているホルダボルト2本を外す [図 8](#)。

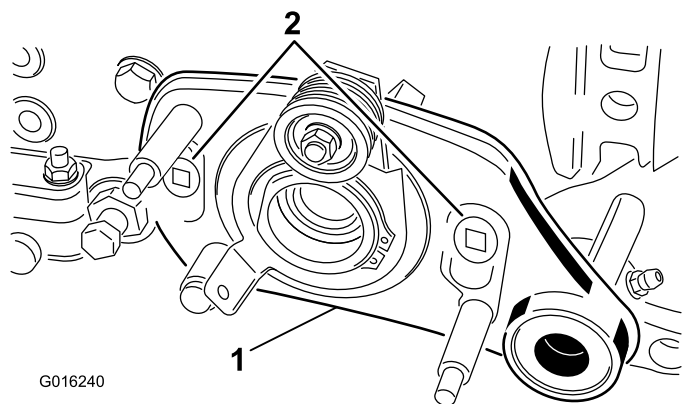


図 8

g016240

1. グルーマ駆動プレートアセ
2. ショルダボルト

9. グルーミングシャフトとカッティングユニットからグルーマ駆動プレートアセンブリ [図 8](#)を外し、グルーマのシムを回収する。

注 グルーマのシムは、駆動プレートアセンブリとカッティングユニットのサイドプレートとの間にあります。駆動プレートアセンブリを外す時に外して回収しておくといよいでしょう。

10. 左側サポートプレートから、グルーミングシャフトアセンブリを注意深く引き抜く。

注 シャフトアセンブリは廃棄して構いません。

11. 以下のパーツについて、磨耗や破損がないか点検する

- 駆動プレート内部のシール、ブッシュ、ベアリングサポートプレート、グルーマアーム。
- プーリとアイドル関連部品。

必要に応じてこれらのパーツの交換を行う。

3

キットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	グルーマシャフト
1	カバー
1	受動プーリ
1	スペーサ
1	フランジロックナット

グルーマシャフトにブレードとスペーサを取り付ける

グルーマシャフトにブレードとスペーサを取り付けます。ブレードやスペーサが足りない場合は代理店にてお求めください。

グルーマシャフトと受動プーリを取り付ける

1. 駆動プレートとサポートプレート部分で、グルーミングシャフトの両端部とシールリップにグリスを薄く塗る [図 9](#)。全部のベアリング、プッシュ、シールの取り付けが適切であることを確認する。

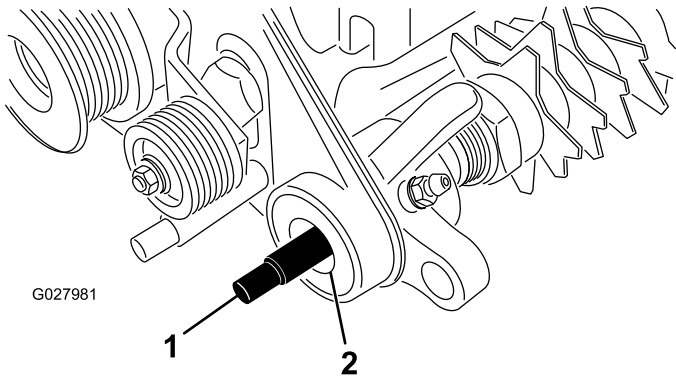


図 9

駆動プレートアセンブリにグルーマシャフトを通した状態

1. グルーマシャフト
2. シール

重要アセンブリを取り付ける時にサポートプレートのシールやシャフトの O リングを傷つけないように注意してください。

4. 駆動プレートアセンブリのピボットハブの O リングとカッティングユニットのサイドプレートカッティングユニット右側のパイロットボアにグリスを薄く塗る。
5. ステップ 92 既存のグルーマシャフトと受動プーリを外す (ページ 1) で外したグルーマのシムを、駆動プレートアセンブリに取り付ける。
6. 駆動プレートアセンブリを、グルーマシャフトに注意深く取り付ける。

重要アセンブリを取り付ける時に駆動プレートのシールを傷つけないように注意してください

7. グルーマ駆動プレートアセンブリをカッティングユニットのフレームに取り付け、ショルダボルト 2 本で固定する [図 10](#)。取り付け後、駆動プレートが自由に回転することを確認する。

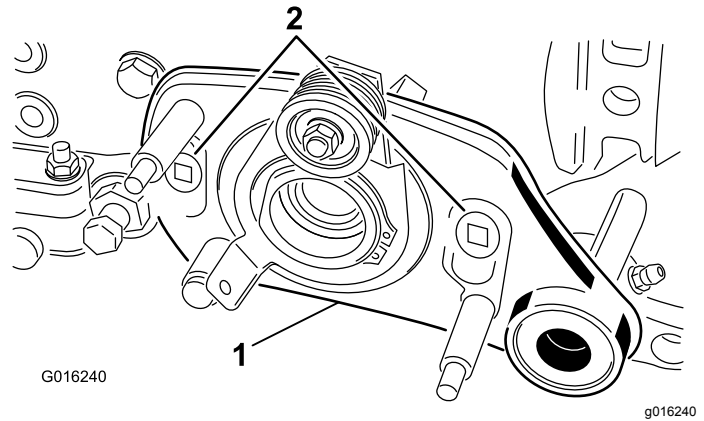


図 10

1. グルーマ駆動プレートアセンブリ
2. ショルダボルト

8. 受動プーリ [図 11](#) のハブにグリスを薄く塗る。

重要プーリの表面ベルトに接触する部分にグリスを付けないように注意してください。ベルトとベルト

2. O リンググルーマシャフトアセンブリのパーツがグルーミングシャフトに取り付けられていることを確認して O リングに薄くグリスを塗る。
3. 左側サポートプレートカッティングユニットの左側に、グルーミングシャフトアセンブリを注意深く取り付ける。

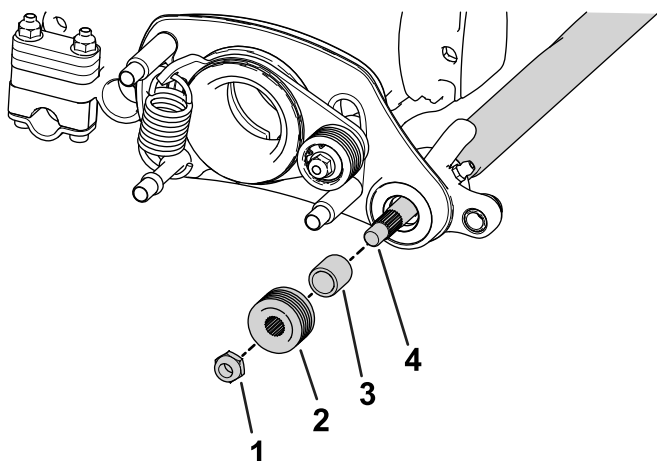


図 11

g291253

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. フランジロックナット | 3. スペース |
| 2. 受動プーリ | 4. グルーミングシャフト |

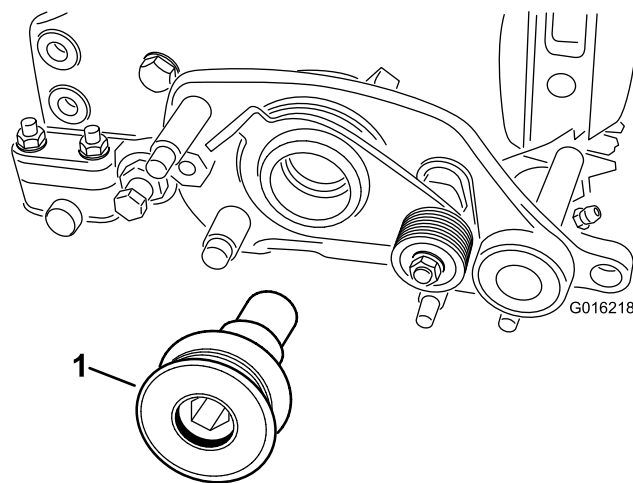


図 12

g016218

1. 駆動プーリ

3. グルーミング駆動プーリ 図 12 を 170 N·m 17.3 kg·m = 125 ft·lb にトルク締めする。

重要 インパクトガンでは適正なトルク締めができません。プーリを正しくトルク締めしておかないと運転中に外れてくる可能性があります。

9. グルーミングシャフトに受動プーリを取り付ける 図 11。

重要 プーリを取り付ける時にサイドプレートのシールを傷つけないように注意してください。

10. フランジロックナットでプーリをシャフトに固定し 図 11、23-28 N·m 2.4-2.9 kg·m = 17-21 ft·lb にトルク締めする。

注 受動プーリを取り付ける時は、グルーミングリールシャフトが回転しないように、レンチでシャフトの平たい部分を押さえておいてください。

グルーミング駆動プーリを取り付ける

1. プーリを取り付ける時にリールが回転しないように、リールに角材などを噛ませる。

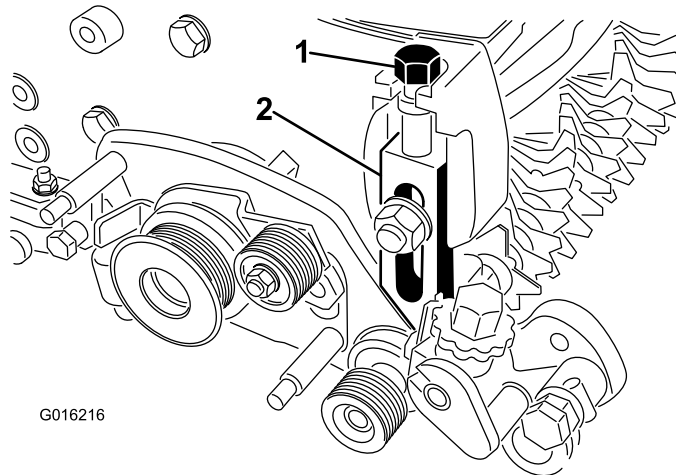
▲ 警告

リールに接触するとけがをする恐れがある。
リールに手指や衣服を近づけないこと。

2. リールシャフトにグルーミング駆動プーリを固定する 図 12。

刈高アームとローラを取り付ける

1. 右側アジャスタアームアセンブリの上部に、刈高調整ねじを取り付ける 図 13。



G016216

g016216

図 13

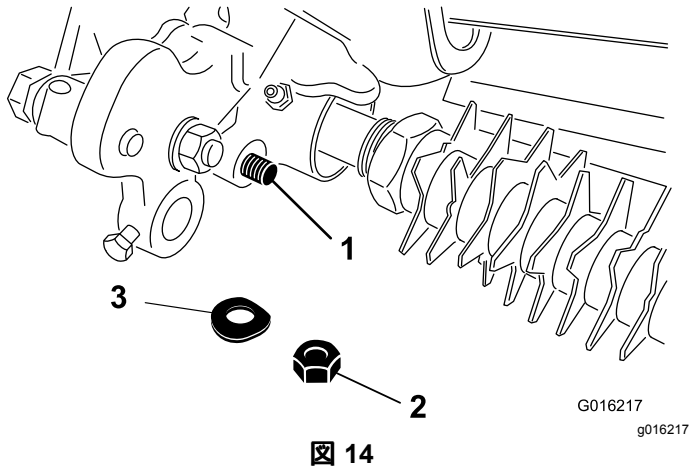
図はカッティングユニットの右側を示す

- | | |
|---------|--------------------|
| 1. 刈高ねじ | 2. 右側アジャスタアームアセンブリ |
|---------|--------------------|

2. 右側アジャスタアームアセンブリをカッティングユニットのサイドプレートに取り付ける既存のプラウボルト、ナットと新しいワッシャを使用する。刈高アームアセンブリのロッドの端部が、グルーミング駆動アセンブリの穴のブッシュに入っていることを確認する 図 13

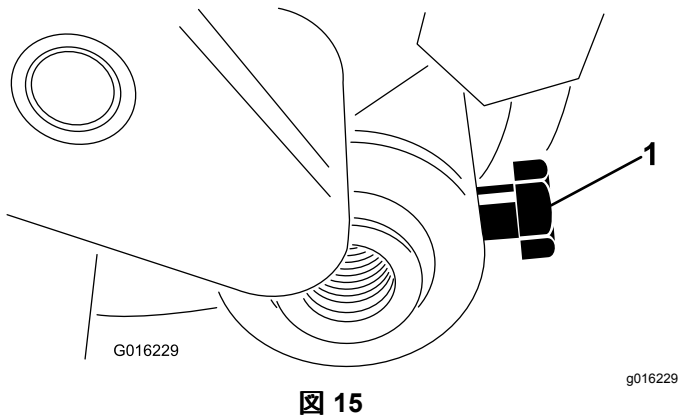
3. アジャスタアームアセンブリのロッド端部をグルーマ駆動アセンブリに固定する先ほど外したワッシャとロックナットを使用する 図 14。

注 ロックナットを締めすぎないように注意すること。ワッシャは圧縮されているがアームは自由に動けなければならない。



1. 刈高アセンブリのロッド端部
2. ロックナット
3. ワッシャ

4. 右側アジャスタアームアセンブリにローラシャフトを差し込んでローラシャフトボルトで仮止めする 図 15。



1. ローラシャフトのボルト

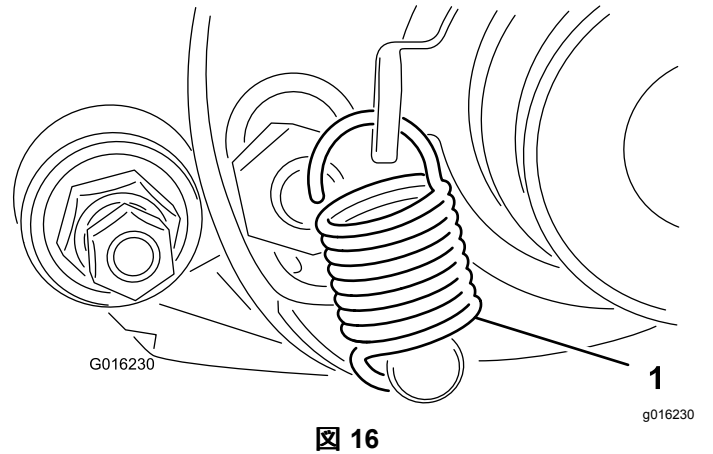
5. 左側アジャスタアーム・アセンブリの上部に、刈高調整ねじを取り付ける 図 13。
6. 左側アジャスタアームにローラのシャフトを挿入する。この時点ではまだボルトの本締めを行わないこと。
7. 左側アジャスタアーム・アセンブリをカッティングユニットのサイドプレートに取り付ける既存のプラウボルト、ナットと新しいワッシャを使用する 図 13。

注 ロッドの端部が、グルーマ駆動アセンブリの穴のブッシュに入っていることを確認する。

8. アジャスタアームアセンブリのロッド端部をグルーマ駆動アセンブリに固定するワッシャとロックナットを使用する 図 14。

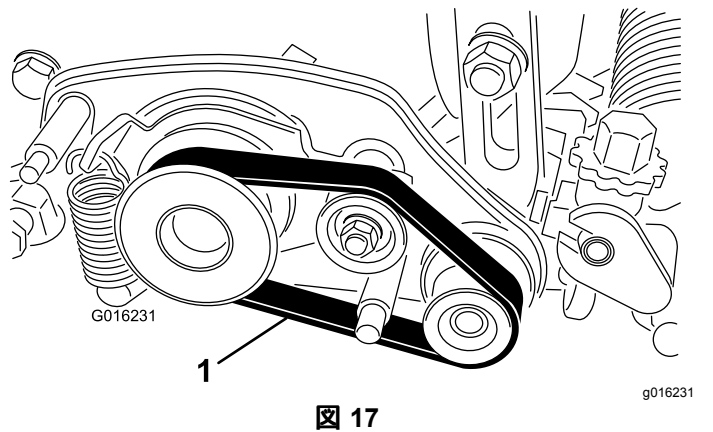
組み立てを完了する

1. アイドラプーリを回してシフトレバーのスプリングをゆるめ、スプリングをプーリブラケットの穴とスタッドに 図 16 のように取り付ける。



1. シフトレバーのスプリング

2. 図 17 のように、駆動プーリ、アイドルプーリ、受動プーリにベルトを掛け回す。



1. 駆動ベルト

重要 図 18 のように、ベルトが各プーリの溝の芯に入っていること、プーリが整列していることを確認する。

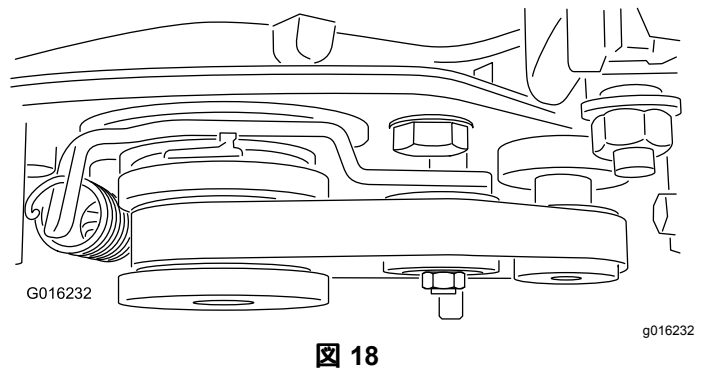


図 18

3. 新しいベルトカバーをグルーマハウジングアセンブリに取り付けるロックナット3個を使用する [図 19](#)。

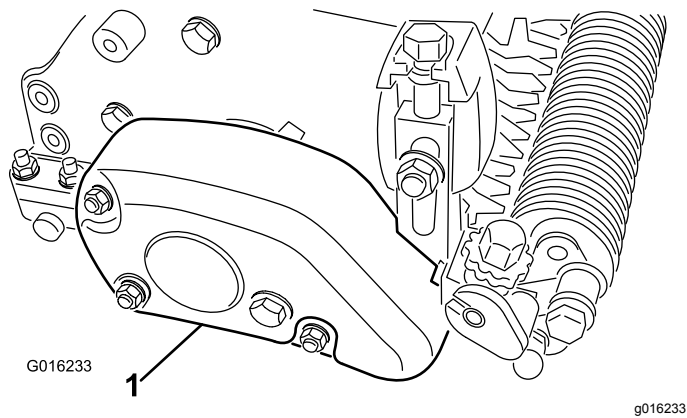


図 19

1. ベルトカバー

-
4. 左右のアジャスタアームの中央にローラの位置出しをし、取り付けボルトを締め付ける [図 15](#)。



Count on it.